



令和5年10月25日
北九州市市民文化スポーツ局

報道機関各位

パラ卓球の普及・振興拠点、国内4ヶ所(予定)に北九州市が選ばれる！ 日本肢体不自由者卓球協会が北九州市長を表敬

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会が、パラ卓球(肢体不自由者卓球)競技の普及や競技人口の拡大に関する北九州市との事業連携に向け、市長を表敬訪問することになりました。

表敬時に、事業連携に係る承諾書を、市長から日本肢体不自由者卓球協会にお渡しする予定にしております。ぜひ、ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【「パラ卓球(肢体不自由者卓球)拠点化構想」とは】

- ・ パラ卓球(肢体不自由者卓球)の普及・振興を目的とする地方公共団体と連携した育成環境整備。
- ・ 今年度、国内4ヶ所を予定。
- ・ 行政は練習会場の確保、中・高校生との練習機会創出(障がい者への理解促進)、指導者育成、イベント実施などに協力。

※ なお、本事業は、一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会が、独立行政法人日本スポーツ振興センター「課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム(地方公共団体と連携した育成環境の整備)」委託事業を受諾して実施するものです。

記

【日時】 令和5年10月30日(月)15:00~15:15

【場所】 北九州市役所5階 第1応接室

【流れ】 ①挨拶、②歓談、③承諾書交付、④記念撮影

【面会者】 日本肢体不自由者卓球協会 宮崎 義仁ハイパフォーマンスディレクター ほか2名
(福岡県卓球協会理事長、北九州市卓球協会会長、北九州市障がい者卓球協会代表が同席します)

<お問い合わせ>

市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室

TEL : 093-582-2411 担当:山根(次長)、鎌田(係長)



宮崎義仁 みやざき・よしひと

1959年、長崎県生まれ。日本卓球協会専務理事。Tリーグ理事長補佐。日本肢体不自由者卓球協会ハイパフォーマンスディレクター。障がい者卓球選手支援協会代表理事

元日本代表卓球選手。

1985年世界選手権大会出場(団体4位、シングルス・ダブルスベスト8)

1986年アジア競技大会出場(団体3位、シングルス3位)

1987年世界選手権大会出場(シングルスベスト16、ダブルス・混合ダブルスベスト8)

1988年ソウルオリンピック出場(シングルス、ダブルス)

長崎: 鎮西学院高校から近畿大学、和歌山相互銀行へ、1990年女子日本代表監督、2001年、男子日本代表監督に就任してからは、ホープスナショナルチームの新設、2012年JOCエリートアカデミー総監督に就任してからは平野美宇や張本智和などの育成、メダルポテンシャルアスリート事業、有望アスリート事業・次世代ターゲット事業・アスリートパスウェイ事業等の新設、選手育成の環境を整えた。

2016年常務理事・強化本部長として代表選手の底上げのため、U-7事業を新設し、ジュニア世代からの一貫指導・育成に取り組み、協会運営にも尽力。

2020年Tリーグ理事長補佐に就任し、Tリーグの改革も推進中。

2022年4月から日本肢体不自由者卓球協会ハイパフォーマンスディレクターとしてパラ卓球の強化及びアスリート育成パスウェイとして日本全国にパラ卓球の拠点作りを推進中。

2022年6月から日本卓球協会専務理事として現在に至る。

2023年6月障がい者卓球選手支援協会代表理事として現在に至る。

わかりやすいテレビ中継の解説も評判。(リオ・東京オリンピック、世界卓球他)

その他

2019年(令和元年5月)学校法人鎮西学院 理事・評議員 現在に至る

著書(抜粋)

日本卓球は中国に打ち勝つ 祥伝社新書

世界卓球解説者が教える卓球観戦の極意 ポプラ新書